

## 令和3年度第1回花巻市立図書館協議会 会議録

### 1 開催日時

令和3年7月20日（火） 午前10時00分～午前11時40分

### 2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

### 3 出席者

#### (1)委員（9名）

佛川恒明委員、菅原俊博委員、堀合範子委員、松田治樹委員、  
中里美香委員、熊谷恵委員、坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、  
小笠原智恵子委員

#### (2)事務局（9名）

市川生涯学習部長、梅原花巻図書館長、  
小原大迫図書館長、菊池石鳥谷図書館長、久保田東和図書館長、  
高橋新図書館計画室次長、高橋花巻図書館副館長、佐々木花巻図書館業務係長、  
黒澤石鳥谷図書館主査

### 4 欠席者

3名（高橋則子委員、佐々木さつき委員、及川智子委員）

### 5 傍聴人

2名

### 6 議題等（議事録）

#### ◎会議成立の報告（高橋花巻図書館副館長）

・委員12名中9名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているので、花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

#### 1 開 会（高橋花巻図書館副館長）

## 2 あいさつ（坂本会長）

おはようございます。大変お暑うございます。その暑さに負けないくらいの熱い視線が新図書館には寄せられているかと思えます。新聞報道ですけれども、花巻北中ではワークショップが開かれたということで、子どもたち中学生が新図書館に期待することは、ネット環境の充実、蔵書の充実、学習コーナーの充実、そういったことを希望しているようです。また、この協議会からは、熊谷委員さんと堀合委員さんに新図書館の整備基本計画試案検討会議にご出席いただいております。ご苦勞をかけておりますが、どうぞ熱い議論をしていただきまして、最後にはしこりのない、市民のための市民の図書館ができることを祈念しております。それでは、今日もどうぞよろしくお願ひいたします。

### （○高橋花巻図書館副館長）

ありがとうございます。それでは議事の進行につきましては、協議会規則第6条により会長が議長となりますので、坂本会長、よろしくお願ひします。

### （○坂本会長）

それでは早速議題のほうに入りたいと思います。「令和2年度花巻市立図書館の事業実施状況等について」事務局よりご報告お願ひいたします。

## 3 議 題

### （1）令和2年度花巻市立図書館の事業実施状況等について

- ・令和2年度花巻市立図書館の事業実施状況について、（令和2年度の実施状況を）花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻：佐々木業務係長、大迫：小原館長、石鳥谷：菊池館長、  
東和：久保田館長

- ・令和2年度決算・令和3年度予算概要及び図書館統計について高橋花巻図書館副館長が説明

### （質 疑）

### （○坂本会長）

ありがとうございます。ただいま四つの図書館からご報告をいただきました。これに関連してご質問ご意見ございましたら、お願ひいたします。

### （○中里委員）

1ページのブックスタートのところで二つお聞きしたいのですが、お渡しする本の選

書をどのようにして決めているのかということと、本をお渡しして、お母さん方の反響とか、何か手応えとか感じていることがもしあれば教えていただきたいと思います。

(○梅原花巻図書館長)

お答えいたします。選書につきましては、各図書館単位でブックスタートにお力添えをいただいているボランティアさん方がいらっしゃいますので、それぞれの図書館と、ボランティアの方々と、そして健康づくり課にも協力いただいてこの事業を実施しておりますので、健康づくり課の担当者と、年に1回、どの本をブックスタートでお配りしていくかということで、会議を開いて本の選書しております。ただ、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、そのような集まりを持てませんでしたので、それぞれの図書館でボランティアさんと一緒に「この本がいいのではないか」と選んだ本を、健康づくり課の担当者からも意見を聞きながら、配布する新しい本を決めていったところです。このような形で配布する本を決めていますが、双子さんや「この本はもう持っている」というお子さんもいらっしゃいますので、交換できる本も何冊か準備しながら対応しております。

普段ですと、それぞれ4地区の保健センターに図書館の職員とボランティアの方とで伺って、離乳食教室でしたり、1歳6か月健診のときに、読み聞かせをしながら、本をお配りしていましたので、肌でお母さんたちの感じやお子さんたちの感じがわかっていたのですけれども、昨年度は離乳食教室や乳児健診が、新型コロナウイルス感染症対策により、時間単位で人数を限ってというやり方になっておりますので、また、私たちもこちらから、ほかの施設の者が行くことで余計な心配をかけたくないというところもありましたので、保健センターの保健師さんたちの協力をいただいて、本だけを健診のときにあわせて配っていただくということにしており、直接お母様方からお話を聞くことはできておりませんが、今回フォローアップ事業で、いつもは「おはなし会」をしていたものを、読み聞かせにおすすめの絵本展ということで、花巻図書館ですと、こども室の中にある丸いテーブルに「読み聞かせにこういう絵本はいかがですか」というように展示したところ、とても評判がよくて、たくさんの方に手にとって借りていただきましたので、これはフォローアップ事業の時だけではなくて、継続してそういう展示をしていきたいということで、定期的に今やっていました。そうすると、やはり手に取られるお母様方が多いので、そういうふうに地道ではありますけれども、「この年齢のお子さんには、こういう本がおすすめです」とか、そういうことをおすすめしていけたらいいなと思っています。今、新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか思うような活動ができないのですけれども、できる範囲で、できることをやっていきたいと思っています。

(○中里委員)

個人的には、私もうちの子も本をいっぱいいただいて読んでいますが、何となく新しい本の中から選ばれている、古く出版された本よりも最近出版された本の中から選んでいただいている感じがしますので、古く出版された本の中にもやはりいいものがあるので、ちょっと幅を広げて選書していただけると、個人的にはいいなと思っています。

(○菊池石鳥谷図書館長)

今、お話をいただいたことですが、古くてとてもいい児童書と言われる本を選んできてはいるのですが、どうしても皆さん、それはもうご購入されている、という方も多くて、本を交換することが多くなるんですね。そういうこともありまして、最近はちょっと新しい本を選ぶようにしております。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。他にはございませんでしょうか。

はい、堀合委員さん。

(○堀合委員)

(資料1-2の) 2ページ目の移動図書館の貸出冊数が令和2年度は大幅に増えているということですのでよろしいですね。令和元年度は9,524冊、それが令和2年度は53,000冊というふうにとらえてよろしいでしょうか。

(○高橋花巻図書館副館長)

令和2年度の一番右の欄の数字は、団体貸出、団体登録をしているところに貸し出した冊数でした。あくまでもこれは個人貸出冊数の推移ですが、参考までに括弧書きとして、団体貸出冊数を載せていました。わかりづらい資料でした。申し訳ありませんでした。

(○堀合委員)

はい、わかりました。では、関連して、移動図書館についてですが、移動図書館は各学校を回っているわけでしょうか、市内の全学校でしょうか。

(○梅原花巻図書館長)

お答えします。図書館によって異なりますけれども、石鳥谷図書館のようにすべての小中学校に行っているところもありますが、花巻図書館の管轄の学校ですと、笹間第一小学校と笹間第二小学校に巡回しておりまして、図書館から遠くて、移動図書館のご希望のある小学校に行っています。そのほかの小中学校には、「学校文庫」という本のセットを持って行って借りていただいていますので、図書館から小中学校に本を持って行ってはいますが、必ずしも移動図書館で行っているとも限らないという感じ

です。大迫図書館もすべての小学校に移動図書館が行っていますけれども、図書館単位で取扱いは異なっています。

(○堀合委員)

はい、わかりました。それで移動図書館のことですが、石鳥谷図書館と大迫図書館では移動図書館の学校ごとの利用者数というのは把握しているのでしょうか。

(○菊池石鳥谷図書館長)

把握しておりますが、今日は資料を持ってきておりません。石鳥谷の中でも、石鳥谷小学校と八幡小学校は結構貸し出しが多いですが、八重畑小学校と新堀小学校が若干少なめという感じになっております。

(○小原大迫図書館長)

大迫図書館も各小学校のほうには行っておりました。中学校のほうにはなかなか行っていないので、今度ご相談に伺いたいと思っております。

(○小笠原委員)

(資料1-2の)1ページ目の決算・予算の概要のところですが、委託料の内訳を再度確認したいということと、令和2年度は東和図書館の委託料がかなり多かったんですけれども、令和3年度は予算が少なくなっていて、予算が少なくても実施できそうとか、何か変遷があったのであれば教えていただきたいと思えます。

(○高橋花巻図書館副館長)

委託料の中身ですけれども、主には図書館の清掃業務などの維持管理の保守委託や、図書館システムなどの保守委託などの業務委託になってございます。

東和図書館関係の増減ですけれども、令和2年度は工事に伴い、工事に付随した設計業務委託や監理業務委託がありました。(工事があると)工事に付随した委託が生じる場合がありますので、それが含まれたときは金額が多くなっております。

(○小笠原委員)

わかりました。もう1回再度確認したいのですけれども、大迫図書館につきましては、そういう経費が少なく済んでいるということですね。

(○高橋花巻図書館副館長)

大迫は総合支所の中に図書館があり、独立した図書館ではありませんので、例えば建物保守の委託などはありません。そういったところで少ない状況になります。

(○小笠原委員)

ありがとうございました。

(○坂本会長)

はい、あとはよろしいでしょうか。よろしいですか。

それでは、議題の2番目「令和3年度花巻市立図書館事業計画について」ご説明願います。

(2) 令和3年度花巻市立図書館の事業計画について

・令和3年度花巻市立図書館の事業計画について、花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻：佐々木業務係長、大迫：小原館長、石鳥谷：菊池館長、  
東和：久保田館長

(質 疑)

(○坂本会長)

各館とも、新型コロナウイルス感染症との戦いですね。

情報提供でございます。ルンビニー美術展が今、文化会館で行われております。そして「旅するピアノ」といって、ピアノがルンビニーの人の作品でとてもカラフルにラッピングされてあって、これを、訪れた人が誰でも弾けるような形になっていて、文化会館の中が変わったんじゃないかと、ドアひとつ入ると本当に入り口から装飾が華やかにされていて、とてもすばらしい環境です。どうぞ帰りにお寄りいただけたらと思います。

(○堀合委員)

巡回するというこのようですね。

(○坂本会長)

はい。ピアノは巡回するようです。美術展については巡回するかどうかはわからないのですが、ルンビニーの方の作品で、とてもカラフルですばらしいです。お客様が少ないことが残念だなと思いますので、帰りにはぜひお寄りいただけたらいいのかなと思っています。

それでは、令和3年度の実施計画についてご提案がありましたけれども、これに関してご質問がございましたらばお願いいたします。

(○中里委員)

4ページ目の花巻図書館の生涯学習課「家庭教育支援講座」というのは、今年度初めての事業でしょうか。

(○梅原花巻図書館長)

お答えいたします。生涯学習課で行っている「家庭教育支援講座」は、毎年事業としてはありますけれども、昨年度は図書館に依頼がなかったので行きませんでした。おとしは、この「家庭教育支援講座」で「孫育て」ということで、おじいちゃんお

ばあちゃんを対象に、「お孫さんにこういう本を読み聞かせしたらいいのでは」というような、そういったテーマで、講師として花巻図書館から司書が2人行って、お話ししたところ。今年度の「家庭教育支援講座」は、7月に3回計画されていて、私ども花巻図書館で行くのが、3回目の「赤ちゃん教室」ということで、子育てされている若いお父さんお母さん方を対象に、お子さんに読み聞かせする本のご紹介や、読み聞かせが大事なものなんですよというようなお話をしてくる予定です。

(○中里委員)

「赤ちゃん教室」というのも今年度初めてのでしょうか。私は今までちょっと聞いたことがなかったのですけれども。子育て中に聞いたことがなかったです。

(○梅原花巻図書館長)

おそらく「家庭教育支援講座」は全3回で企画していると思うのですが、その企画された中での「赤ちゃん教室」は、あまり多くはしていないのではないかなと思います。前回の「孫育て」も、図書館としては初めて、おじいちゃんおばあちゃん対象に行いました。いろいろ考えながら、生涯学習課でまなび学園を会場として取り組んでいるところだと思います。

(○中里委員)

お母さん方にみんな、やはり絵本を読んでほしいと思いますので、お知らせをが行き渡るような、(この講座は)広報でのお知らせになりますか。

(○梅原花巻図書館長)

はい。広報やホームページ、SNSがメインだったとは思いますが、すぐに定員に達したようです。

(○中里委員)

わかりました。ありがとうございました。

(○坂本会長)

ほかにございませんでしょうか。はい、堀合委員さん。

(○堀合委員)

事業計画を大変いいなと思って見させてもらいました。というのは、石鳥谷図書館の「であい授業in石鳥谷」で知的障がい者の方とその指導者の方、小林さん、板垣さんの講演会を去年も今年もやるということ、それから、先ほど出た「ルンビニーアート展」もやるということ、花巻図書館は「バリアフリー映画会」を企画するというので、やはり図書館は健常者だけではなくて、障がい者も含めて、すべての市民が入りやすい、利用しやすいというような図書館をこれからもぜひ企画してほしいなと思っております。例えば、そのほかには、視覚障がい者等への読み聞かせを必要に応じ

てですね、これは社会福祉協議会でもやっているとは思いますが、図書を預かるという意味で、こういうことを取り入れていただければなと思っております。

それから、最近図書館に行って、いいなと思ったことがありましたので、ご紹介させていただきたいと思います。私、石鳥谷図書館に、花巻図書館も利用させてもらっておりますし、行っておりますが、今まで蔵書が書架からあふれているというか、大変いっぱい、要するに手狭になって、倉庫にもいっぱい入っていると思いますが、この前行きましたら、大変ゆっくりしたスペースになっておりまして、空いているスペースもあれば、それから本を横向きに並べて本の表紙が見えるように置いてあるというのを、私（今までは）本がびっしり並んでいる図書館を見ておりまして、最近行ってこれはとてもいいなと思えました。表紙が見えるように置かれていると、町なかの本屋さんのように、「こういう本もあります。おすすめです。読んでみませんか」と私も利用者も言われているようで、つい新しい、私が読んだことのない作家の本、この前も借りてきましたけれども、ぜひできる範囲でのそういった工夫が、利用者にとっては何か斬新なアイデアに見えて、大変うれしいなと思えましたので、ぜひ。ほかの図書館さんもやられていることではあるかと思いますが、大変いいなと思えましたので、お話しさせていただきました。以上です。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。ほかにはございませんでしょうか。今のお話、本の表紙が見えるように置いてあったということですよ。本屋さんでもありますよね。読んでほしい本はそうになっています。それで、本の横にポップがあったりして。

ほかにご覧いただけますか。それでは、次に移ってよろしいですか。それでは議題の3番目「新花巻図書館整備基本計画試案検討会議について」、市川部長お願いいたします。

### (3) 新花巻図書館整備基本計画試案検討会議について

(○市川生涯学習部長)

生涯学習部の市川です。座ってご説明します。これまでも図書館協議会の皆様方には資料を提示してご説明してきたものでありますが、新しい委員さんもおいでなので、少しだけ経緯をご説明させていただきますと、昨年度新しい図書館をつくるための一般、高校生、20代等のワークショップを開催いたしました。そして、市民との意見交換会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響がありまして、オンラインで3回開催したわけですが、参加者が少ないという状況でした。ワークショップと市民との意見交換を踏まえまして、新花巻図書館の整備基本計画をつくりたいと

いうことでありましたが、なかなか人を集めて議論もできないという状況がありまして、今年度、まずは、この新花巻図書館整備基本計画試案を、生涯学習部のなかの事務局、4月から「新花巻図書館計画室」という専属の部署をつくりましたので、そこで試案をつくりまして、新図書館の中身を具体的に検討していきましようということ、この試案をお示ししながら、各界の方々、あるいは専門的な分野の方々を委員としてお願いしまして、4月から毎月1回、試案検討会議を開催しております。委員名簿を資料3-2におつけしておりますが、図書館協議会からも堀合委員さん、熊谷委員さんに参加いただいておりますし、青年会議所から松田委員さんも、図書館協議会のメンバーでもおいでですし、佛川校長先生も参加いただいております、図書館協議会、社会教育委員、また、利用者の方々、身体障がい者福祉協会、青年会議所、商工会議所、PTA連合会、読み聞かせのボランティア、芸術協会、小学校・中学校・幼稚園、博物館や学校、教育委員会から、図書館の司書、学芸員なども含めまして議論しているという状況であります。

試案について少しご説明をしたいと思います。資料3-1です。ページをおめくりいただいて、1ページ目の目次で説明をさせていただきます。「1 新花巻図書館整備の背景」、「2 花巻図書館の現状と課題」、「3 市民のニーズ」、「4 新花巻図書館整備の基本方針」という部分につきましては、平成29年に図書館協議会において議論していただきまして、市民参画も経て決定いたしました新花巻図書館整備基本構想という基本計画の前に定めた構想がございますが、その構想の中身を書いているものであります。図書館整備の必要性などから、今の花巻図書館の状況、そして、市民のニーズはワークショップと意見交換を開催いたしました中身を書きまして、基本方針を定めましたというような流れになっております。「5 新花巻図書館の整備計画」から具体的な中身を試案といたしまして示したのになっておりまして、それぞれのサービスや図書館の役割、サービスの種類などを書いております。そしてこの中身について、試案検討会議で議論しているというところでもあります。6番では施設と規模、7番では建設場所ということでもあります。そこまでお示ししていきたいというものであります。

5番の新花巻図書館の整備計画から少し説明をしたいと思います。12ページをお開きください。12ページから新花巻図書館の整備計画ということで、「平成29年8月に定めた『新花巻図書館整備基本構想』における整備方針に基づき、より具体的な整備計画を次のように定めます。」ということで、サービスの基本、「資料と情報の収集およびそれらの提供をサービスの基本とします。」と、当たり前のことでありますが、新しい図書館の位置づけ、サービスの内容をしっかりと文言として記すものがこの基

本計画ということでございまして、中身を示しているというものでございます。特に、中央図書館という位置づけがありますので、中央図書館としての役割をまずお示ししているという状況であります。ざっとの説明で恐縮ですが、15ページであります。15ページは、「5-3 サービスの種類」ということでございまして、閲覧・貸出、レファレンス、リクエスト、図書企画展・講演会、そして16ページは、学校図書館の支援、情報発信を強化、新たなシステムへの対応、利用者の視点、図書館ボランティアとの協働ということで、サービスの種類ごとに、文言でお示したというものでございます。17ページにいきますと、「5-4 利用対象者別のサービス」ということで、乳幼児・児童へのサービス、ティーンズサービス、成人・社会人のサービス、高齢者へのサービス、障がいがある人へのサービス、行政機関へのサービスというように利用対象者別にまとめたということになっております。

これまで3回検討会議を開催しておりまして、今の段階で19ページの「(5) 障がいがある人へのサービス」まで議論が進んでいるという状況です。この先はこれからでして、実は来週、4回目がございます。4回目は、この(6)以降を議論していくというものでございまして、これまでの議論の中では、すべてホームページでお示しはしておりますけれども、主な議論としては、図書館と学校との連携についてどのようにするべきか、どのように示していくべきかというようなところを議論されております。これにつきましては今、教育委員会と少し議論しておりまして、やはり司書の配置とか、職員の配置等をどこまで示していくかということになろうかなというように考えております。いずれ教育委員会と少し議論をしているというところでございます。もう一つが障がい者、高齢者等に対するサービスについてどの程度書いていくか。当然、しっかりとした対応をしていきたいと思ひまして、今の段階でも書いておりますが、それらについてご意見をたくさんいただいております。あと、前回の会議で17ページの「(9) 図書館ボランティアとの協働」ということで、ボランティアの皆さんと一緒に、図書館をどのように良くしていくかというような、もう少しこの文言をいい書き方があるのではないかというような議論もされておりますし、特に今日は図書館協議会の皆様方にはボランティア活動もされている方も多いというように思っておりますので、このあたりも、もし何かアイデア、あるいはご意見がありましたら、今日いただければなというように思っております。少し先に進みますと、20ページ以降はまだ議論していないところでありますが、資料についてはご説明したいと思います。

「5-5 利用方針に関する事項」ということで、直接利用者に関係してきますが、開館時間や貸出点数、あとは蔵書・資料の収集をどのようにしていくか。22ページ、23ページになりますけれども、先人や郷土資料、視聴覚資料をどのようにしていくか。

図書館の情報システムをどのようにしていくか。24ページには運営経費もお示ししております。今の花巻図書館は、年間8,300万円ほど維持費がかかりますが、新しい図書館は、試算段階ではありますけれども、2億円弱ぐらいの計算をしているとことを示しております。これについても試案検討会議でまだ意見交換しておりませんが、このあたりも意見をいただいきたいというように思っているものです。25ページからは施設になります。具体的にはハードと考えていただいてよろしいですが、先ほど来、申していますが、高齢者、障がい者にも利用できる建物ということで、ユニバーサルデザインを施設の一番最初に示したいというように思っております。バリアフリーです。十分なスペースを確保、あるいはこれまで利用者別にサービスを書いておりましたが、今度はハード的に示したいということで、先人や郷土資料のスペースや子どものスペース、防災、防犯対策等、28ページまで示していきまして、29ページには、具体的な大きさを、仮にはありますが、積算してお示ししたというものでございます。30ページ以降は、それぞれのスペースにどのようなものを置いていくかということ。39ページまで具体的に示していきまして、2階建てを想定しておりますけれども、配置のイメージを示しております。40ページは建設場所であります。今までの流れの中で、花巻市立地適正化計画のなかの都市機能誘導区域という、花巻駅から東側のエリアということをご理解はいただいております。40、41ページにこれまでお示した候補地を、現段階でお示ししているという状況でございます。

ざっとですが、試案についてご説明いたしました。今後はこの試案について、試案検討会議で細かいところを議論いただいて、また、先ほど会長からお話があったように高校や中学校に行ってワークショップなどもやっております。あと、高齢者など利用者の団体などにもご説明をしながら意見交換をしていきます。そうしたなかで、これらも試案検討会議に結果をお示しして、試案の中身を詰めていきまして、これをしっかりとした案にしていきたいというように考えております。その上で、最終的には図書館協議会とパブリックコメント、市民から意見を聞くという二つの方法を、市民参画の手法をとるガイドラインに基づいてこの二つの手法を用いることにしておりますので、こちらにおかけするという形があります。このほかにも社会教育委員会、そして教育委員会にも議論をいただいて、この整備基本計画を定めたいというように思っております。その上で、これに基づいて設計に入ることになるかと思っております。これがまだ先でありますけれども、まずその設計を発注する前の仕様を定めるのが基本計画というふうになりますので、これを、今、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか集まって議論ができないという状況が長引くなかで、こういう試案検討会議をやって詰めていこうということを考えまして、進めているというところで

ございます。経緯といたしましてはこのような状況でございまして、先ほど申しました、具体的に言いますとボランティアとしての活動をされているなかから、新しい図書館として、こんなふうになってほしいなとかですね、ソフト面でも構いませんし、ハード面、あるいはそれだけに限りません。全体を見ていただいて、こういうところをもう少し考えてほしいなどという意見でも構いませんので、ありましたらご意見を、また、質問がありましたらお聞かせいただければと思いますし、今回に限らず、これらの資料は各図書館と振興センター、総合支所等にもお手に取っていただけるように置いてありますので、そのなかで、地域で議論していただいても構いません。生涯学習部のなかに新花巻図書館計画室がございまして、意見をそちらにお寄せいただければ、図書館に言っていただいても構いませんので、そういうふうにしていただいて、よりよい計画をつくりたいというように思っているところです。以上です。よろしくお願ひします。

(質 疑)

(○坂本会長)

ありがとうございます。検討会議の名簿を拝見いたしましても、各団体からもれなく出ているんだなと、すごくきめ細かなことを考えて実行なさっているんだなというように思った次第です。

ここからは、お一人ずつ新図書館に対して、今のことに関する疑問でもご意見でも構いませんので、お一人ずつ頂戴できればと思います。

(○佛川委員)

基本計画の会議等にも出ておりますし、ホームページにも議事録等も載っていますので、皆さんも見られる部分だなというふうに思います。私が思うのは、やはり未来につながる楽しい図書館が早くできればいいというところだけです。以上です。

(○菅原委員)

4月に中学校の校長で赴任して、前は小学校の校長だったのですが、愕然としたのが学校の図書館でした。小学校は本を読みたくなるような、あるいは、書架などの工夫をしてあったのですが、中学校、私はもともと中学校(教員)なので、中学校の図書館は大体そのような感じなのですが、暗くて、いつ本を貸しているのかよくわからないという状況です。これは何の違いなのかなというと、やはり図書館に人がいるかないかだと思います。小学校のほうは比較的、学校図書館司書が入っていたり、私、江刺(水沢奥州)でしたので、図書館司書が入っていたりして、すごく整備されているんです。学校サイドからいうとやはり人が欲しいなというところなんです。それから、盛岡の土淵小中学校にもいたのですが、そこはボランティアさんが当番で学校図書館

のなかに人として入ってくれるんです。ボランティアさんが読み聞かせだけするのではなくて、子どもたちが貸し出ししやすいようにということで、ボランティアさんが毎日当番みたいな感じである時間帯に来てくれる。例えば、（そういう言い方は失礼なのですが）ちょっと費用がかかることなのであれば、そういうことも含めて、ソフトの部分ができればいいかなと思うことが一つ。それからもう一つは、私は花巻の図書館のシステムがよくわからないで話をしますが、例えば学校で端末があって、その端末から図書館の本を借りられるというようなシステムがあると便利かなと。わざわざ足を運んでいくということではなくて、例えば中央図書館にある本、花巻の本、図書館になると思いますが、例えば大迫の中学校で借りたいときに、端末から探して端末で予約をすれば、それが例えば大迫図書館のほうに配架されてくると。そうすれば、わざわざ花巻まで行かなくても大迫の図書館まで行って、その本を借りることができるというような、今の時代です。そういう端末を活用するような、ハードの面でもそういうことできればすごくいいかなというふうに思います。長くなりましたが、以上です。

（○堀合委員）

私も試案検討会議に入らせていただいておりますので、その場でも言わせていただいております。今、大迫中学校の菅原先生がおっしゃったようなことですがけれども、一関の図書館、一関の子どもたちがもう20年ぐらい前から当たり前のように受けているネットワークサービスというものを、花巻は未だに受けられないでいるという現状を、ぜひこの機会に新しい図書館を整備するのと並行して、学校図書館の蔵書のデータベース化を進めて、学校図書館ネットワーク、あるいは、もっと広い図書館ネットワークを構築させて、子どもたちも、大人と同じようなサービスを受けられる、そういう環境にぜひ進めていただきたいなと思っております。先ほど来、菅原先生が、人がいれば図書館を利用する子どもたちが増える、本当にそのとおりだと思います。この図書館司書の配置については、この基本計画の中にも学校司書を配置するというふうに載っておりますので、その点については十分に、毎日とはとてもいえないと思いますが、改善の方向の兆しは見えているわけですが、ハード面で蔵書データベース化されれば、子どもたちはバーコードリーダーを使って自分で借りたり返したり、あるいは自分の学校にはないけれども、隣の学校にあるかもしれないという本を借りることができる、あるいは調べ学習についても、自分の学校を見つけることも実はデータベース化されていないと全部図書目録とか書架を見なければならぬということですが、これがデータベース化されれば、自分の学校の（本がある）場所も一目瞭然、あるいは、「隣の学校にある」ということもわかるのではないかなと思って。この場

でも言わせていただきました。ぜひ並行して進めていただければと思います。

(○松田委員)

花巻青年会議所の理事長をやらせていただいています松田治樹と申します。よろしく願いいたします。私も試案検討会議のほうにも出させていただいておりますので、こちらで具体的に何かというところではないんですけども、昨年からワークショップや、新図書館に関しましていろいろと参加させていただいておりますが、ワークショップにいろいろな意見が出ている、いい意見も結構あったかと思っておりますので、もう少しこの試案の中に盛り込んでいただけると、もっといいのかなあというふうに思っております。本当にワークショップのなかでもいい意見がどんどん出てきて、若い子たちも本当に真剣に向き合って意見してくれていたものがいっぱいあったと思っておりますので、その意見もどんどん取り入れていただければなと思って見ておりました。以上になります。

(○小笠原委員)

私も図書館ボランティアとの協働というところにやはり関心を持ちました。先ほどから、子どもたちが利用しやすい図書館ということがありましたけれども、シニアにとっても利用しやすい図書館、やはりボランティアの方がいると聞きやすいというか、今の図書館は、まだ私には敷居が高いです。ちょっと聞きづらかったりしますね。あと、うるさくしてはいけないとか。だから、これからの図書館は文化の拠点なんだけれども、話をしている空間とか、飲食している空間とか、若い人から障がい者、シニアまで、みんなが利用しやすいという、そういう本当に幅のある図書館利用を目指していただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(○佐藤委員)

資料請求票を皆さんお出しになったことがあると思うんですけど、そうすると最終返却日が印字されるのですが、この件でお話ししたいと思っております。この本は「今こそ読みたい児童文学100」という本ですけど、今年は、私はこの本からいろいろ読もうと思って何冊か検索したところ、4館すべてにある本に一つの傾向があるように思われましたので、ご紹介したいと思っておりますが、1冊目は「ふたりの老女」という本が、石鳥谷図書館では開架にあって最終返却日が2019年2月12日、花巻図書館の書庫（閉架）にあるものは最終返却日が2012年2月12日、大迫図書館は一般に開架してあって最終返却日が2016年10月9日、東和図書館は最終返却日が開架にあるところで2019年3月22日。（2冊目は）「幽霊の恋人たち」という本が、石鳥谷図書館の開架にあって最終返却日が2021年4月6日、花巻図書館の書庫（閉架）にあるものは資料の最終返却日の記載もされていないところを見るとかなり移動がなく、2階の書庫（閉架）に

あるものは2005年2月1日、東和図書館の閉架にあるものは2017年4月25日。つまり、同じ本でも開架にあれば貸し出されるけれど、閉架に行ってしまうと貸し出されないということなんです。やはり子どもは手に取れるところから本を借りるので、開架に置くということがすごく重要だと思いますが、花巻図書館が新しくなるという話は、娘が小学校の頃からありました。その娘がもう高校3年生です。大人にとって、この8年9年というのはあまり変化がないかもしれませんが、子どもにとっての8年9年というのは、著しく成長する期間なので、もし、もっと早く新花巻図書館ができていたならば、今、書庫（閉架）にある本も当然広い場所に移動されて、今やむなく書庫（閉架）に入っているこれらの本も開架に置かれて、子どもの側にあったという可能性、つまり借りられていたという可能性が大いにあるわけですので、今8年9年かかっても新図書館がなかなか難しい。いろいろな案が出ては頓挫して、またいちからということが繰り返されているわけですが、多くの人が意見を出し合って議論を吟味して、全員が納得するゴールを目指すということも大事かもしれないけれども、子どもの成長を考えたときに、やはり一日も早く新しい図書館を建てていただいて、今書庫（閉架）で出番を待っている本を開架に並べるということが、大人が子どもにできることだと思うので、大人の世界のことで今いろいろあるかもしれないけれど、それも大事ですけど、やはり子どもにとっての、子どもの成長を思ったときに、大人がどれだけ子どもにいい本を手渡せるかということを考えてとき、もっと早く議論を進めて新しい図書館を建てるという方向に向かっていったほうがいいのではないかなとも思っています。以上です。

(○熊谷委員)

私も佐藤委員さんと同じような意見です。なかなか進まないということで、確かに一つのものをつくるために、いろいろな方の意見や、いろいろなことを広く聞いて、一生懸命いいものをつくろうという、けれど、できあがれば絶対にどこか何かが出てくるということだけは皆さんわかっているのではないかなと思います。理想な図書館ができれば、それにこしたことはないのですが、とにかく、なるべく早く新しい図書館ができて、子どもたちがその図書館に行くということが、一日も早く来ないことには。先ほどもおっしゃっていましたが、8年というのは結構長いですね。子どもの成長というのは本当にすばらしく早いもので、私、土沢幼稚園に子どもを入れたのですが、そこでまず父母の会みたいなものがありまして、バザーをやって、その益金はすべて本を買おうと言って文庫をつくりました。そこからずっと幼稚園には絵本がたくさんになっていって、もう今うちの息子が40歳ですから、結構な時間が経っていますが、本当に絵本が多くなりました。そして、子どもたちに人気のある本というのはぼろぼ

ろになるので、「これは本当に昔からある本だけれども、やっぱり今の子にもそういう、読んで楽しいわくわくするような本なんだな」ということがすごくよくわかります。それから、東和小学校で読み聞かせということをやっております、毎月やっていたのですが、この新型コロナウイルス感染症のために、それができなくなりました。1年生から各クラスにボランティアの人たちが入って読み聞かせをする、本当に朝のちょっとした時間ですけれども、それから読み聞かせが終わったら、残れる方は残って本の病院をするというボランティア活動を大変盛んにやっていたのですが、このところ全然できておりません。こういうような新型コロナウイルス感染症が蔓延しているなかでは無理なんだなと思いますけれども、やはり子どもたちに私は会いたいです。そして、子どもたちの前で読み聞かせをしたいです。ですから、新しい図書館になったときもそういうようなスペースが欲しいなと思います。新花巻図書館の整備基本計画試案検討会議のほうにも出させていただき、この会（図書館協議会）にも出させていただいて、いろいろとお話を伺ってきて、何か、片方だけに出ていると漠然としたものが、合致してきたという意味はありますし、だんだん手応えが出てきたなどということは感じておりますので、スピードを上げて、図書館が早くできるようなことを願っております。

(○中里委員)

私も子育て中なので、どうしてもお母さんの視点でちょっと偏った意見になるかもしれませんが、やはり小さい子どもを連れて、大きな荷物を持って出かけるということはすごくお母さんにとっては大変なことなので、図書館に行くときも、例えば小さいストレスができるだけ取り除かれているといいなと思います。外から玄関に入ったときに、ベビーカーが何台か並んでいるとか、あと子どもがぐずったときに、もう帰ってしまうというのではなくて、ちょっと駆け込めるスペースがあるとか、それぐらいしか今は出せないのですけれども、そういう、お母さんが行きやすい図書館になるといいと思います。以上です。

(○坂本会長)

たくさんのご意見が出ました。やはり最後は人なんだな、菅原先生のお話を聞いて、ひょっとすると花巻のほうが予算規模が大きいかもしれないけれど、江刺には学校司書が配置されている。江刺は、県内では本を借りる市民の数が結構多いんですね。1番2番を争っていたような気がします。そんなに大きな図書館ではないのにどうしてそうなんだろうと、江刺の図書館に行ったときに思いました。それから、水沢の図書館は本館と分館というシステムですけれども、ボランティアの方々、有償ボランティアなそうですけれども、その方々がとてもよく活動しているんですね。「サンダル

で歩いて行けるとところに図書館がある」というのが、たしか水沢の図書館のキャッチフレーズだったように思いますが、それだけ本館と分館がいっぱいあって、今はそんなに距離が近くなくても検索できる、そして検索したものを借りることができる、そういうようなこともあるのだから、いろいろなことを使って、熊谷委員さんが言ったみたいに、早くできてほしいなと思います。担当の職員の方々どうぞよろしくお願いいたします。大変だと思います。お返しいたします。

(○市川部長)

はい、大変ありがとうございました。いろいろ貴重なご意見をいただいたと思っております。できるだけ我々も早くつくりたいということで、私も相当前から関わっております。なかなか進まないところは本当に申し訳ないと思っておりますが、熊谷委員さんがおっしゃったとおり、だいぶ中身の議論も進んできて、少し図書館としても見えるような形にはなってきておまして、これからは専用のホームページなどもつくったり、何か冊子もつくったりして、もう少し市民にPRしていただくことも必要ではないかなというように思っております。そのあたりも進めながら、良い図書館にしていきたいというように思っておりますので、またご意見等ありましたら、遠慮なく伝えていただければというように思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(○坂本会長)

ありがとうございます。それでは、試案検討会議についてはこれでよろしいですか。

それでは、次の「(4) その他」に移りますが、その他については、何か皆様ございますでしょうか。特にないようですので、事務局のほうにお返しいたします。

#### 4 その他 (○高橋花巻図書館副館長)

それでは、議題のほうは終了させていただきたいと思います。次第に沿いまして、「4 その他」ですけれども、議事議題にかかわらず何かございますでしょうか。

(○小笠原委員)

御礼です。図書館統計の中に、利用統計や貸出冊数などいろいろなデータを入れていただいて、本当にわかりやすくなったと思います。新型コロナウイルス感染症でいろいろ数字は揺れると思いますが、継続していただければありがたいです。よろしく申し上げます。

#### 5 閉 会 (○高橋花巻図書館副館長)